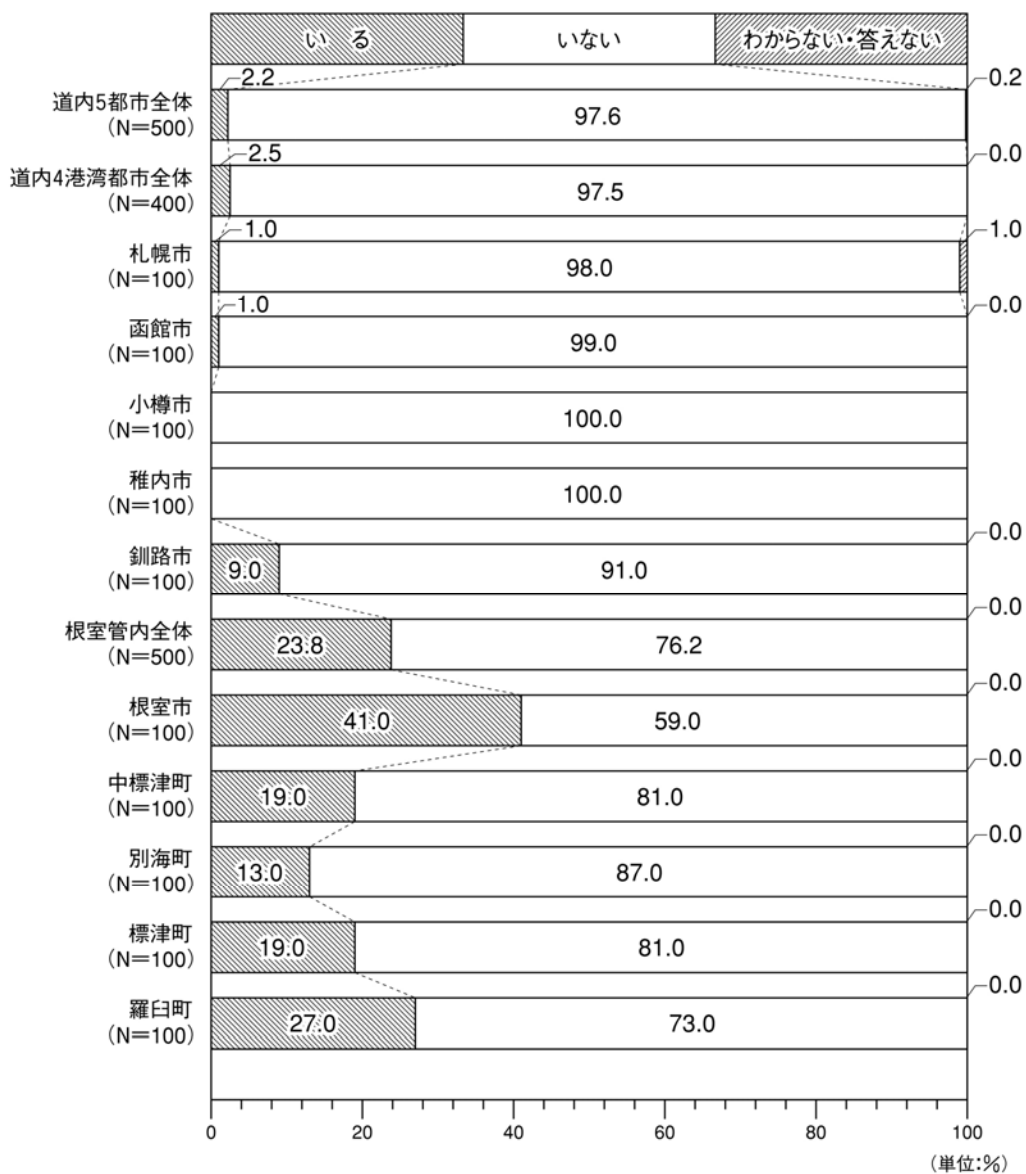


3. 結果の概要

(北海道新聞情報研究所・調査研究部)

問1 あなたのご親族に「北方四島」に住んでいた方がいますか (単数回答)



(1) 道内5都市

道内5都市では「いない」が97.6%と圧倒的多数を占め、「いる」は2.2%と極めて少数派。性別・年代別を問わず「いる」は2~3%程度にとどまる。

都市別でみると、地理的に近い釧路市では「いる」が9.0%とやや高く、小樽市、稚内市は皆無だった。

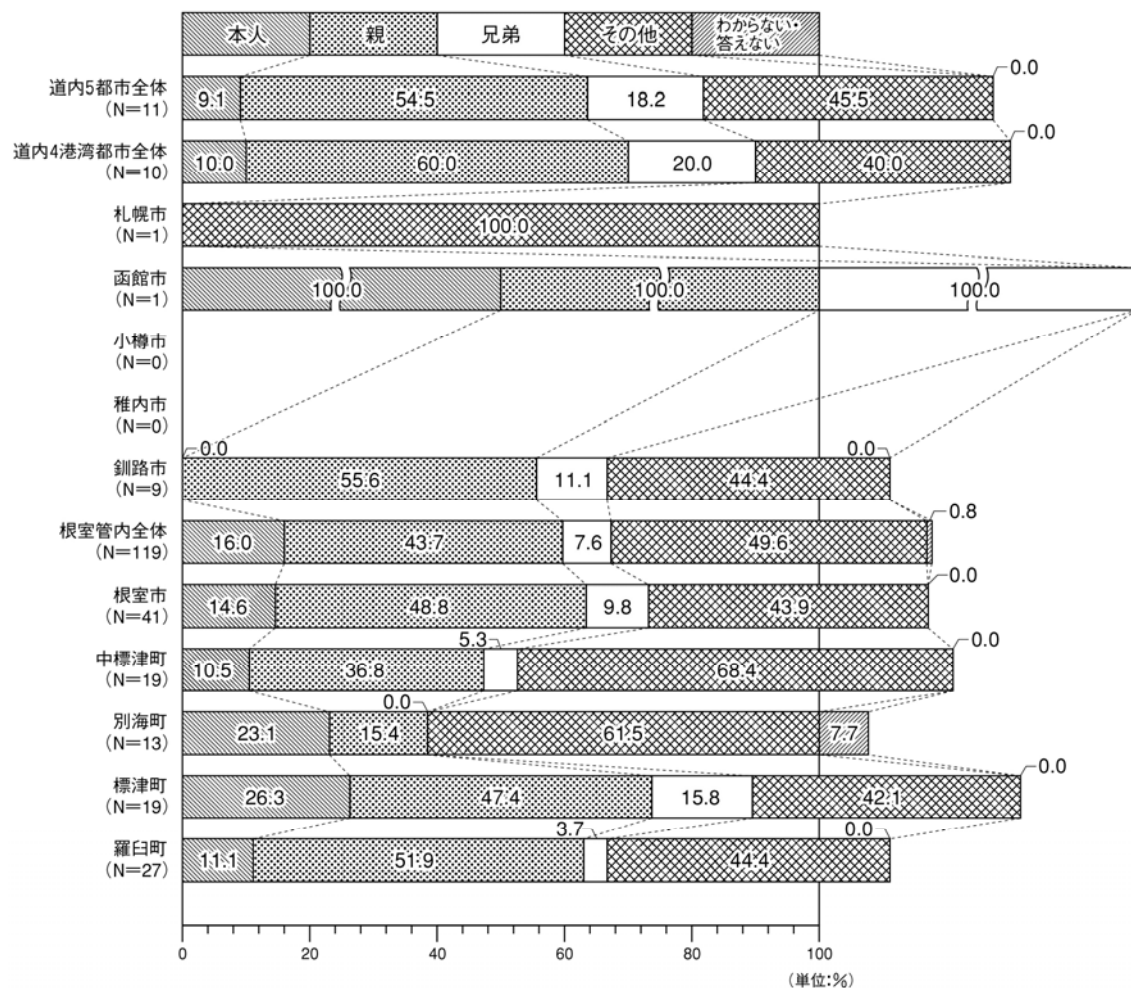
(2) 根室管内

根室管内では「いる」が**23.8%**と、道内5都市に比べて北方領土に住んでいた親族を持つ割合が極めて高い。

「いる」と答えた人は**40代**と**60代**で**3割**近くを占め、漁業関係者や会社員（漁業関係者を除く）、専業主婦で同じ割合を示す。

都市別でみると、根室市では「いる」が**41.0%**とひとときわ高く、次いで羅臼町が**27.0%**と**3割**に迫る。一方、中標津町と標津町は**19.0%**、別海町は**13.0%**で、同じ根室管内でも市町村によって北方四島とのつながりに違いが見られる。

問2 (問1で「1. いる」と答えた方にお聞きします)
 それはどなたですか (複数回答)



(1) 道内5都市

道内5都市で、北方四島に住んでいた親族がいると答えた11人にその続柄をきいたところ、「本人」が1人、「親」が6人、「兄弟」が2人、「その他」が5人だった。

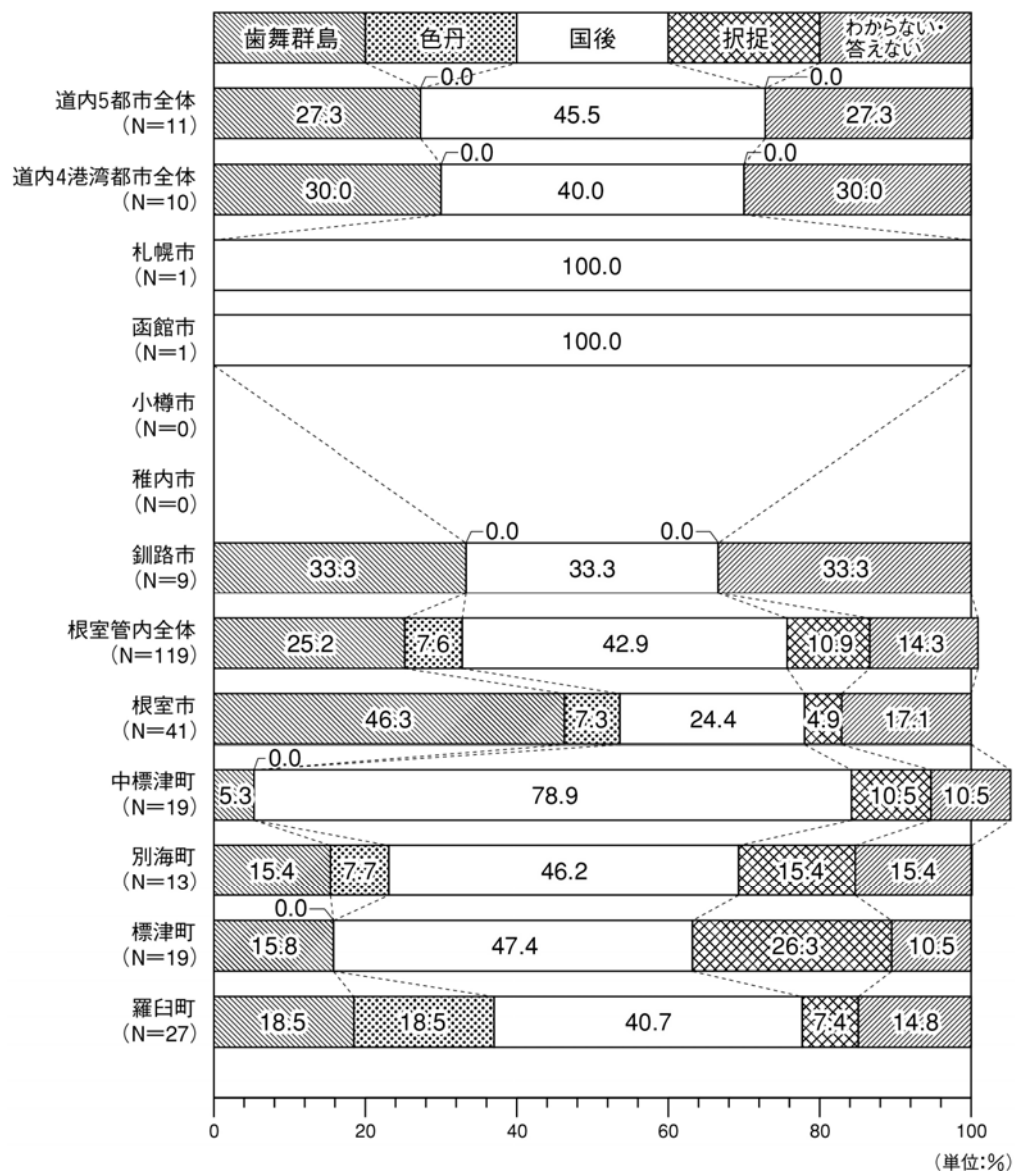
(2) 根室管内

根室管内で、北方四島に住んでいた親族がいると答えた119人にその続柄を聞いたところ、「親」が43.7%と4割を超え、「本人」(16.0%)や「兄弟」(7.6%)を引き離している。また、家族以外の親族にあたる「その他」も49.6%と高率をマークした。

年代別でみると、「本人」は70歳以上で6割と高い。「親」は40代から60代で5割を超え、特に40代では7割に達する。「本人」や「兄弟」と答えた人は60代に限られ、20代から50代では皆無である。また、「その他」の割合は20代(サンプル数15)で8割と、若年になるほど北方四島に住む親族との関係が遠くなる傾向が見られる。

北方四島に住んでいた親族がいる人の割合が最も高い根室市では、40代で「親」と回答した人が9割近くを占める。

問3 (問1で「1. いる」と答えた方にお聞きします)
 その方はどちらの島に住んでいましたか (複数回答)



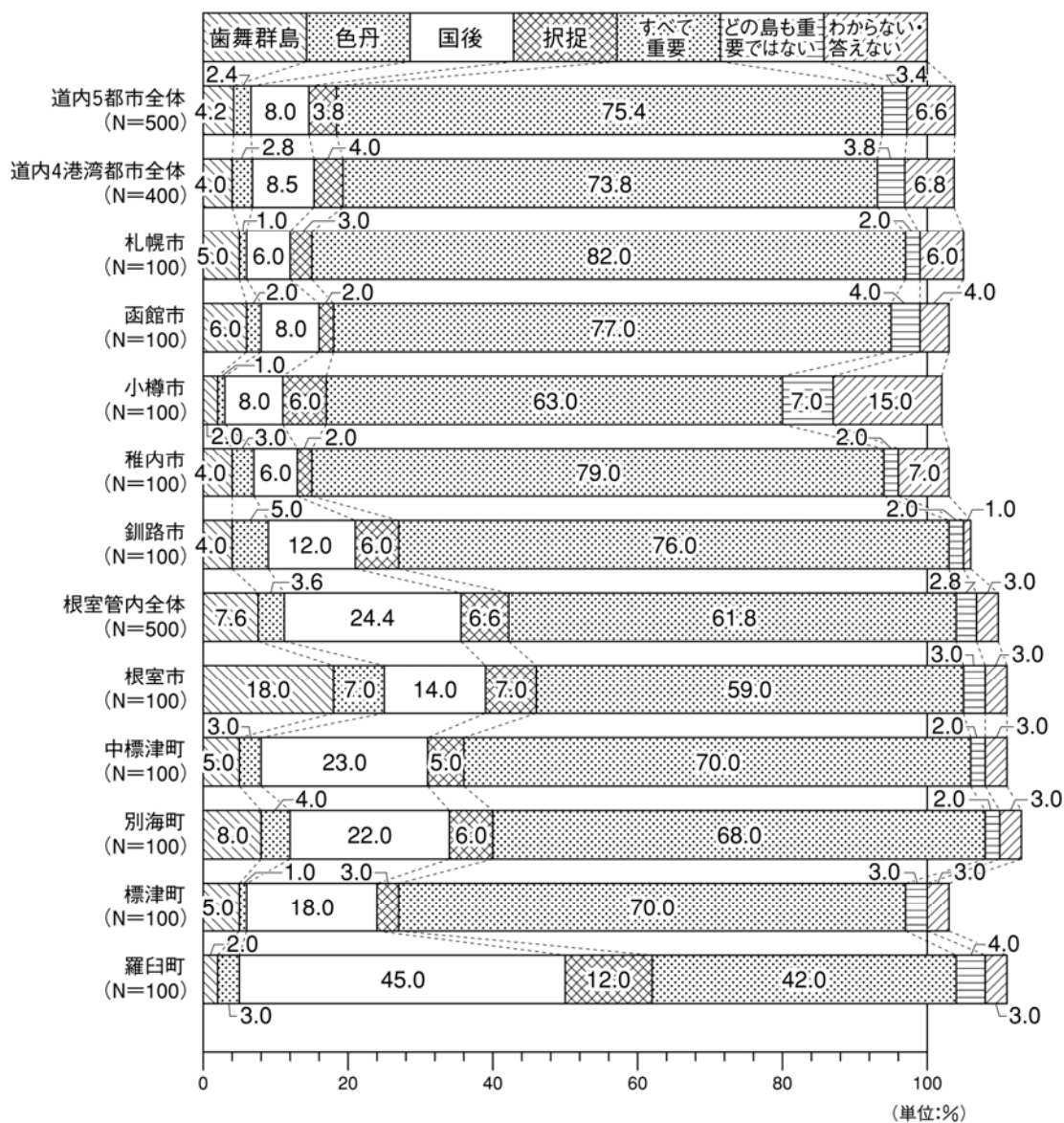
(1) 道内5都市

道内5都市で、北方四島に住んでいた親族がいると答えた11人に島名を聞いたところ、「国後」が5人、「歯舞群島」と「わからない」がそれぞれ3人だった。

(2) 根室管内

根室管内で、北方四島に住んでいた親族がいると答えた119人に島名を聞いたところ、「国後」が42.9%と4割を超え、次いで「歯舞群島」が25.2%、「択捉」が10.9%、「色丹」が7.6%と続く。また、「わからない」も14.3%と1割を超えた。

問4 「北方四島」の中で、特にどの島が重要だと思いますか（複数回答）



(1) 道内5都市

道内5都市では、「すべて重要」が75.4%で最も高く、具体的に島名を挙げた人は5人に1人とどまる。その内訳は「国後」8.0%、「歯舞群島」4.2%、「択捉」3.8%、「色丹」2.4%と続く。一方、「どの島も重要ではない」と答えた人は4.3%と極めて低率にとどまる。

年代を問わず「すべて重要」と考える人は7割を超えるが、20代、30代の若年層では「どの島も重要ではない」が若干高く、それぞれ8.6%、6.2%となる。

地域別で見ると、「すべて重要」は札幌市で82.0%と8割を超えるのに対し、道内4港湾都市（函館市、小樽市、稚内市、釧路市）では73.8%と低い。都市によって考え方にばらつきが見られ、中でも小樽市では「すべて重要」が63.0%と北方四島全体に対する評価が低く、「わからない・答えない」も15.0%に達する。

(2) 根室管内

道内5都市と比べて根室管内では具体的な島名を挙げた人の割合が高く、「すべて重要」は61.8%にとどまる。島別では「国後」が24.4%と最も高く、以下「歯舞群島」7.6%、「択捉」6.6%、「色丹」3.6%と続く。「どの島も重要ではない」は2.8%と低い。

年代が上がるほど「すべて重要」が減少し、具体的な島名を挙げる人が目立つ。また、「国後」はおおむね年代が上がるほど高くなり、50代以上では3割を占める。

職業別でみると、漁業関係者で「国後」が38.4%と際立って高く、以下は「択捉」の13.7%、「歯舞」の8.2%、「色丹」の5.5%と続き、具体的な島を挙げる人が65.8%と6割を超える。

地域別でみると、北方四島に住んでいた親族がいる人の割合が比較的高い根室市と羅臼町では具体的な島名を挙げるケースが目立ち、「すべて重要」はそれぞれ59.0%、42.0%にとどまる。羅臼町では「国後」を最重要視する人が全体値を20ポイント近く上回る45.0%に達し、漁業関係者でも50.0%をマークする。また、根室市では「歯舞群島」が18.0%と、「国後」の14.0%を抜き、全体と異なる傾向を見せる。

四島に対する評価は、北方領土に住んでいた親族の有無とは相関関係が見られない。